

## 第 21 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会議事録（要旨）

|                   |  |
|-------------------|--|
| 会議名               | 第 21 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会   |
| 日 時               | 平成 20 年 2 月 5 日(火)午後 3 時～午後 5 時  |
| 場 所               | 杉並第五小学校 多目的室   |
| 出席者               | 統合協議会委員 15 名(6 名欠席)  |
| 事務局               | 7 名(教育長、学校適正配置担当課長、学校適正配置担当係長 2 名、担当職員 2 名、学務課学事係長)  |
| 傍聴者               | 1 名  |
| 次 第               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ</li> <li>2 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 校章及び校歌について(報告)</li> <li>(2) 通学路について(報告)</li> <li>(3) 統合協議会報告書(案)について</li> </ol> </li> <li>3 統合協議会終了にあたって(各委員)</li> <li>4 教育長あいさつ</li> <li>5 正副会長あいさつ</li> </ol> |
| 資 料               | 資料 1 杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会報告書<br>参考資料 天沼小学校通学路線図(平成 20 年 1 月 26 日(土)保護者説明会資料)   |
| 今回決<br>定した<br>事 項 | <p><b>統合協議会報告書(案)について</b></p> <p>一部、誤字等を修正のうえ、教育委員会等へ報告する旨了承された。</p>   |

## 1 開会あいさつ

<会長>

第21回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会を開催いたします。

要綱第6条第3項に基づき傍聴を許可いたします。

統合協議会として2年間に渡り協議を重ねてまいりましたが、統合新校である天沼小学校の開校が約2箇月後に迫ってきております。委員の皆さまには、毎回熱心にかつ仔細に渡り協議をしていただき、ありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

本日は、これまでの検討内容を総括し、統合協議会報告書を中心に検討していただきます。

次第にしたがい議事を進行してまいります。事務局より説明を受けます。

## 2 校章・校歌について

### 3 通学路について

<事務局：学校適正配置担当係長>

議題に入ります前に、ご報告させていただきます。

1月31日に事務局あてに電話があり、その方からの要望でもありますので、そのご意見を紹介いたします。

一つは、閉校記念式典の日程についてです。卒業式、修了式の前に挙行することはおかしいのではないかとということ。二つ目は、閉校記念式典で校旗を区長に返還するにもかかわらず卒業式に校旗があることはおかしいのではないかと、というご意見です。

このことは、以前、統合協議会でも話題になりましたが、子どもたちのことを第一に考え、教育課程や学校行事に支障がないよう、閉校記念式典の日程を2月23日(杉並第五小)と3月1日(若杉小)に決定したこと、また、閉校記念式典は、子どもたちも参加して、学校に対する感謝の気持ちを表すセレモニーであること、このことを電話にて説明いたしました。

参考までに、20年4月には、北区、中野区、墨田区、品川区、杉並区で学校統合が予定されています。インターネットで調べましたところ、北区の十条中と富士見中が統合されますが、十条中の閉校式は2月16日、富士見中の閉校式は3月8日に予定されています。また、墨田区では第一吾嬬小と立花小が統合されますが、第一吾嬬小の閉校式は2月9日に予定されています。他区でも修了式前に閉校式を挙行されている例があります。

次第に戻りまして、「校章・校歌について」及び「通学路について」ご報告いたします。

- ・ 校章については、本協議会において仔細に渡る検討をいただき、修正を行い完成した（「統合協議会報告書（案）」（P.8、P.9）を参照）。現在、この校章により校旗の作成に入っている。
- ・ 校歌については、谷川俊太郎氏（作詞）、谷川賢作氏（作曲）に依頼し完成した。
- ・ 通学路について、1月26日開催の在校生保護者説明会は、この資料（参考資料「天沼小学校通学路線図」を参照）により説明している。
- ・ 前回の統合協議会で、日大二高通り北側のルート及び衛生病院東側のルートについて指摘があり、11月16日に保護者の協力を得て実地調査を行った。その結果、このような通学路とした。
- ・ また、3学期から若杉小の通学路の追加指定が行われ、日大二高通りと教会通りから郷土博物館分館までを通学路に指定した。

あわせて、1月26日に開催した在校生保護者説明会について、概略を報告いたします。

- ・ 当日の参加者数は約150名、主な説明内容は、教育方針、児童数及び学級数、特別支援学級、学校での生活の流れ、閉校式及び開校式、校章及び校歌、通学路、PTAについて。
- ・ 上履きや持ち物のこと、移動教室のこと、クラス替え、校庭開放のことなどについて質問があった。

<会長>

事務局からの報告について、質問等があればお願いします。

<委員>

通学路に関連してですが、現在、杉並第五小の子どもたちが自宅から若杉小に通う練習をしています。22年度に現在の杉並第五小の場所に移りますが、20、21年度に天沼小に入学する児童と現在の1年生から3年生は、その場所に通ったことがないのです。移転するときに通学の練習はするのでしょうか。

<会長>

今回、現在の若杉小への通学路を検討するため実地調査などをしました。以前にも

話題になったことがあります。現在の杉並第五小の新校舎に通うようになったときには、現若杉小通学区に住む子どもたちを中心に、再度検討する必要があると考えますが、いかがでしょうか。

<事務局：学校適正配置担当課長>

通学路につきましては、その時点で支障をきたさないように検討したいと考えております。

<委員>

20年度から新校に通うということは、今、現に若杉小としてある学校に通うことになるのですが、22年度の移転前に登校訓練するということは、工事中に行うということでしょうか。工事の最後の段階では工事車両もあまりないと思うのですが、安全面のことから、低学年の保護者会でそのような話がありましたので伝えさせていただきました。よろしくお願いいたします。

<会長>

他校の工事の様子を見ていますと、校舎ができあがり、最後に校庭を整備するというようなようです。校舎ができた段階で登校訓練はできると思います。このことは、記録に残しておきたいと思います。

これは、統合協議会の継続協議ではなく、その時点で新たに検討会を立ち上げるようになるのでしょうか。

<事務局：学校適正配置担当課長>

その時点で、学校とPTAにご相談しながら、実地調査などを行い、登校訓練などの対応を考えていくということです。そのために統合協議会を開催するという事は考えておりません。

<委員>

若杉小の北側正門に入る「若杉小北」交差点のことです。横断歩道があり、若杉小前のバス停があります。バスが停車しているとき、信号を見落としている車だと思えますが、バスを追い抜こうとする車が横断歩道を渡り始めている子どもと接触しそうな場面を何度か見たことがあります。子どもを送ってきてヒヤッとしたことがあります。バス停の位置を変えて、信号が見えるようにすれば、後続車は追い抜

かないと思うのです。低学年の子どもたちは、青信号を守って手を上げて渡っているのに、追い抜こうとしてスピードを上げた車が、横断歩道に突っ込んできたら、防ぎようがないのです。

<事務局：学事係長>

後ほど現場を確認いたします。バス停の位置については、バス会社に相談したいと思います。

<委員>

確かに委員おっしゃるとおり、バスを追い越す車があります。そこは点滅信号で、一旦停止するようになっていますが、できることならば、通常の信号にしてはどうかと思います。四面道から日大二高通りに入って、かなりの距離は信号がありませんから、普通の信号にできればと思います。

<会長>

点滅信号かどうかは事務局に確認願います。バスが停車中のことについては、来年度は交通安全指導員が拡充されるようですので、重点的に4月はその場所で指導と安全確認をしてもらうことになると思います。

現在、若杉小に12名の子どもたちが日大二高通りを通学しています。来年度は6年生が5名卒業し、残り7名に新1年生が加わります。在校生は個別に集めて、日大二高通りで安全指導はすでにやっています。おそらく、新校でも個別に指導はしていくことと思います。

それでは、「統合協議会報告書(案)について」事務局からの説明をお願いします。

#### 4 統合協議会報告書(案)について

<事務局：学校適正配置担当係長>

- ・ 本編と資料編とにより構成している。
- ・ 統合新校の校名については、昨年度、校名候補を「天沼小学校」とすることに決定した。その後、正式に「杉並区立天沼小学校」に決定するまでの経緯を記した。
- ・ 統合新校の校章及び校歌については、今年度、最も時間をかけて協議をお願いした事項であり、決定に至るまでの経緯を詳しく記した。
- ・ 統合新校の通学路については、先に報告した内容を記した。
- ・ 統合新校の教育方針については、昨年度、教職員連絡会で検討した内容から大き

な変更はなく、この内容で在校生保護者説明会を行った。これを基に、具体的な教育課程を定めていく。

以上が、「統合協議会報告書(案)」の内容です。本日、協議していただき、承認をいただきましたら、教育委員会及び区議会文教委員会に報告いたします。

<会長>

ただいま、説明のありました「統合協議会報告書(案)」について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

<委員> - 誤字の指摘あり -

<委員>

この報告書は、両校の保護者に配布されるのでしょうか。

<事務局：学校適正配置担当係長>

報告書自体を配布することは考えておりませんが、統合協議会ニュースで概要をお知らせしたいと考えております。

<委員>

次に発行される統合協議会ニュースをもって、最終と考えてよろしいのでしょうか。

<事務局：学校適正配置担当係長>

そのとおりです。なお、報告書自体は教育委員会ホームページでご覧いただくことは可能ですし、閲覧用の報告書を学校に置きます。

昨年度の検討内容について、中間報告書を作成しましたが、各保護者に配布まではしていません。これまでも、統合協議会ニュースを発行し、検討経過等をお知らせしております。

<会長>

他にご意見は、ございますか。誤字を訂正したうえで、この統合協議会報告書により教育委員会等への報告としてよろしいでしょうか。

<各委員> - 異議なし -

<会長>

ご承認いただきましたので、この報告書により教育委員会等に報告いたします。

この報告書が、私たち統合協議会委員が2年間検討してきた集大成です。これで、統合協議会の協議がすべて終了したということになりますが、全体に渡ること、何かご意見等あればお願いいたします。

<委員>

現在、統合協議会の内容については、教育委員会ホームページで逐次掲載されていますが、いつまで公開する予定でしょうか。委員名が掲載されていますので、それも含めて長期間公開とするのか、その内容によって公開期間を変えるのか、そのあたりの考えをお聞かせください。

<事務局：学校適正配置担当係長>

現段階で何年まで公開すると決定しているものではありませんが、ご指摘のあった委員名の公開の仕方については、考慮させていただきます。

他の自治体では、平成16年の統合協議の内容がホームページに掲載されている例もありますので、本協議会での協議内容については、しばらくの間、掲載することを考えております。

<会長>

教育委員会ホームページには、他の教育施策の情報も掲載されています。委員発言の趣旨を勘案しつつ、他の教育施策の情報との関連も考慮しながら、掲載期間については事務局で検討されたいと思います。

<委員>

統合協議会とは直接関係がないかもしれませんが、杉並区は教育立区をうたっています。区報等でも小中一貫校が言われておりますが、具体的な計画があるのでしょうか。

また、文部科学省が学校支援制度について、杉並区がモデル区になったということを知っていますが、支援制度の具体的なものをお聞かせいただければと思います。

<事務局：学校適正配置担当課長>

小中一貫教育について、杉並区教育ビジョン推進計画に基づき、現在、和泉中学校と和泉小学校と新泉小学校、今年度から高円寺中学校と杉並第四小学校で試行し、今後その成果を検証していく、という段階です。校舎一体型の小中一貫校の計画は、現在のところありません。

文科省の学校支援制度ですが、杉並区は全国に先んじて地域の方々の協力を得ながら学校支援本部を展開しており、この取組みがモデルとなっています。実際、他の自治体から杉並の学校支援本部に対して多くの視察があります。

## 5 統合協議会終了にあたって

<会長>

本日が、最後の会議になります。各委員の皆さまから、統合協議会の感想や天沼小学校に寄せる期待等、一言ずついただければと思います。

<委員>

統合協議会準備会から携わってまいりました。時代の流れから、私は、統合することは非常によいことと考えておりました。(若杉小は)学年1クラスで小規模校の良さがあるのですが、私たちが育った頃のように複数学級が実現できるということ、そのためには、統合が本筋との信念を持っておりました。

しかし、その発端は、4年前の平成16年8月でした。区教育委員会から話があり、「たたき台」からスタートしたのですが、実は、スタートからボタンのかけ違いがあったと考えております。といいますのは、「たたき台」の中身でした。それを訂正することがありませんでした。A校もB校も同じ、対等の立場で統合してはどうかという「たたき台」にして欲しかった。にもかかわらず、A校にB校が来る、というものが「たたき台」の内容でした。それが非常に残念でした。

A校もB校も同じ立場で、同じ条件で、同じ発想の基に、統合協議会をつくってください、それがこのような会として形づくられました。

私は、将来の教育、子どもへの教育への思いがあるのであれば、校地面積が広い方の学校を使うことが良いのではないかと、それは第三者委員会の場でも申し上げました。決して広いといえない校地ですが、工夫して良い校舎ができるものと期待しています。しかし、絶対量として校地面積1,000㎡の差がある。区内には130年を迎える学校もあるのですから、子どもたちに永久的に残る学校をつくること、広い学校を残してお



きたいということが本心であります。

しかし、A校かB校かどちらかに（学校の位置を）決めないといけません。地域の方々や子どもを育てていらっしゃる親御さん達にとって、子どもたちの目先がふらふらすることはいけない、期間が長引くのは良くないということで、どちらかに決める時期が来るだろう、それが4年前のことです。今日、その結論がまとまったわけで、非常に結構かと思います。

夢を抱きまして、言う事を言い、筋は通しました。新しい学校が栄えることを望んで、将来も地域の一員として支援できることがあれば、手伝いをさせていただきます。以上です。ありがとうございました。

<委員>

統合協議会が始まる2年前は、統合はまだ先のことと考えており、さほど実感していませんでした。協議会に毎回出席して、瞬く間に2年間に過ぎ、その土台が出来上がりました。素晴らしい学校ができることと期待しています。

PTAにとっては、これからが大変なことだと考えています。二つの学校が一つになりますので、様々なことが異なりますし、保護者の方の考えも多少違うかと思います。それを一つのものに作り上げていくために、これから、がんばっていかなくてはならないと考えています。この協議会が終わるということは、その段階に入っていくのだ、という気持ちです。

今後とも、地域の方々には、杉並区で第1号の統合新校を見守っていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

<委員>

準備会から参加して3年間、勉強になりました。ありがとうございます。

協議会で一つひとつ議論し、保護者の代表として不安なことをなくしていければと思っておりましたが、ここまでくると、新しい学校ができることを楽しみにしています。

子どもが新しい学校をととても楽しみにしています。それに励まされて、親がぐずぐず言っていられないという気持ちです。

子どもが天沼小学校に在学している間、子どもとともに成長していきたいと考えております。ありがとうございました。

< 委員 >

子どもが入学する際、教育委員会の方から、若杉小は10年後もあるから、と言われて入学しましたが、2年生のときに統合の話が出ました。本当に寝耳に水でした。

統合は仕方のないこと、むしろ人数が増えることは望ましいことだということが頭にあり、一保護者として、統合を待っていればよいと考えたことがありましたが、若杉小の校地に新校を持ってきてもらえないか、そのことを区に言ったり、第三者委員会あてに手紙を書いたりもしました。そのようなことを、わからないながらもやり、いつの間にか統合協議会の席に座っていたことを、今では不思議に思います。

準備会を含めて3年半、いろいろなことを勉強させていただきました。一つのものをつくることの難しさ、そのために何が必要かを考え、たくさんのことを学ばせていただきました。

これからは、一つの学校になって、新しいものをつくっていきます。地域の皆さまのご指導を賜り、保護者も仲良く、新しい学校、新しいPTAを盛り上げていきたいと、思います。これからも、よろしく願いいたします。

< 委員 >

統合協議会に出席させていただき、勉強になりました。校舎のこと、オープンスペースのこと、エコスクールのこと等、ここまで区が考えていただいたことがよくわかりましたし、勉強になりました。

これからも、小学校に関わっていきますので、お手伝いさせていただきます。ありがとうございました。

< 委員 >

4年前に統合の話が出たとき、PTA役員をやっておりました。はじめての説明会の前日は眠れませんでした。どのような質問が出るのかわからず、不安に思っておりました。嵐の日でしたので、その日のことはよく覚えています。

それから、紆余曲折ありましたが、非常に良い方向にまとまってこられたのは、この地域の皆さまのおかげ、先生方のおかげと、思っております。

先生方には、とてもよい子どもたちに育てていただいております。今日も天沼中学校で杉並第五小、若杉小の6年生と百人一首をやっており、その様子を見てきましたが、とても和気藹々と楽しそうにしていました。この地域で、よい子どもたちが育って、いってくれたらと思っております。

私たちPTAは、2年程前から新しい会則をつくらないといけないのではないか、そ

の前に PTA があるのか、なくてもいいのかというところから話をはじめ、やはりあった方がよいということになりました。その方向で話を進めて、新校 PTA の新役員に両校から 4 名ずつ出ていただき、ここにいらっしゃる委員が会長を引き受けてくださることになりました。この統合協議会の中から会長が出ていただいたことで、非常に安心しております、きっとよい船出ができると思っています。明日、新役員との顔合わせがあり、そこで新しい会則を渡したいと思っています。

この地域の一員として、これからも学校を支えさせていければと考えております。ありがとうございました。

< 委員 >

統合協議会に参加し、本当に勉強させていただきました。校章や校歌の決定に立ち合わせていただいたことを非常に誇りに思っています。また、ここにいらっしゃる委員が、PTA のバトンを引き受けていただけるということで、安堵しております。これからも微力ながらもご協力させていただきます。

私も小学生の頃に新校を 2 回経験しており、第 1 期生で卒業しております。その因果でしょうか、この統合時期に関わることになりました。

今後も学校を支えていく立場として、協力させていただきます。ありがとうございました。

< 委員 >

協議会に出席して感じたことは、地域の方の学校に対する思いの強さでした。地域の方に非常に力があると感じました。本当の意味で学校を助けていただいています。

現在、閉校式の準備を進めていますが、150 名近くの方々から出席の返事をいただいております。

そして、若杉小と杉並第五小の素晴らしさを新校に引き継いでいけるよう、残り 1 ヶ月半、しっかり準備をしていかなければならないと、心新たに思った次第です。ありがとうございました。

< 委員 >

2 年間の長きに渡り本当にお世話になりました。ありがとうございました。

この統合協議会では、いろいろな意見を出し合ってくださいました。委員の皆さんそれぞれが、抑制された論調で真摯に議論されたこと、その議論の経過を見ていただき、私は行政側の委員として、皆さまに感謝申し上げたいと思います。

先日、若杉小の記念誌を拝見しました。若杉小の歴史や古い写真、統合に至るまでの経緯を記していただいておりますが、それを読みまして、学校というものが地域の中で、どれだけ大きな意味をもっているのか、本当によくわかった気がしております。適正配置を進める立場の行政担当者として、地域の皆さんが学校に寄せる思いをよくわかっていなければいけない、そのことを改めて感じた次第であります。

他の自治体の学校統合の例などを調べましたが、幸いなことに、私たち大人の思いとは別に、統合後の新しい学校で子どもたちが目を輝かせている、友だちが増えたことで喜んでいるということを目にしました。それは、どの学校でも基本的には同じと思っております。

天沼小学校も、子どもたちが目を輝かせて、通ってくるような学校になってもらえればと思いますし、きっとそうなるだろうと思っております。本当にありがとうございました。

#### < 委員 >

この協議会に参加して、地域の方々の学校に対する思いを強く感じました。よく地域に抱かれた学校、地域の中に生きる学校といいますが、それを実感することができました。

4月の統合に向けて、その皆さんの思いをどうやって学校教育に生かしていくか、また、子どもたちが輝く楽しい学校、統合して新しい学校ができてよかったと思えるよう、新校の準備を進めていきたいと思っております。

これからも地域の方々にお世話になることが多々あると思っておりますが、学校と地域と保護者、みんなで協力して、子どもたちのための学校ができればよいと考えています。これからも、よろしく願いいたします。

#### < 委員 >

この委員に出席して、多くのことを勉強させていただきました。ありがとうございます。

地域再生としての教育力のあり方、これを痛感いたしました。地域の人々が学校にどう携われるのか、自問自答しながらやってまいりました。例えば、学校図書室のあり方など、非常に関心を持ったところです。

この2年の間に、「プロジェクト・ワイルドすぎなみ」という環境問題を子どもたちとゲームを通して考えようという団体のエドューケーターの資格をとってみたい、読み聞かせの講座に参加してみたいしております。統合協議会に参加することで、自分

に投資させていただいたのではないかと、そのように感謝しております。ありがとうございました。

< 委員 >

本当にあっという間だった気がします。準備会のことを思い返せば、これからどうなるのか、と思うことも多々ありました。本協議会になってからは、統合第1号の学校をベストの学校にしよう、一番の学校をつくろう、という前向きで建設的な討議ができて、本当に良かったと思います。結果的にすばらしいものができました。

先生方には、両校の交流授業を組み立てていただきました。杉並第五小の80周年事業、両校の閉校関連事業など、いろいろなことがあった中で、加えて交流授業をしなければいけないということは、何倍も負担がかかれたことだと思います。それを子どもたちのため、いろいろ工夫してくださいましたこと、本当に感謝しています。

同時に、土曜日学校や放課後活動についても、保護者の方々の協力を得て、去年から統合させていただきました。その意味では仲良く過ごすことができている良い見本になると思います。

これから区内で学校の統合が進んでいくと思いますが、第1校目の誇りを感じています。とても良い見本として出発できることを誇りに思います。

今日も天沼中学校で百人一首大会がありました。先に杉並第五小の子どもたちが着いて、後から若杉小の子どもたちが入ってきましたが、子どもたちは、気軽に声を掛け合っていました。非常に仲良く交流ができていると強く感じました。これも先生方のおかげです、感謝しております。

教育委員会の皆さんにもいろいろあったかと思いますが、意見を聞いていただきありがとうございました。

あと2ヵ月で壊されてしまう杉並第五小の校舎を見ていて、寂しい思いもします。私の在学中に体育館や校舎が建てられ、そのときのことを覚えております。これが壊されるところを見るのは寂しい気がしますが、それを見届けまして、新しい学校ができることを楽しみにしております。ありがとうございました。

< 委員 >

皆さま、長い間ご苦労さまでした。皆様のご意見で、絶対に良い学校ができることは間違いないと思っています。

私の父親の代から天沼に住んでおりますが、杉並第五小は統合して立派な学校になる、そして、新たしくなった学校を見届けたいと思っています。皆さん、ありがとう

ございました。

私は、町会長をしておりますが、この報告書のことを各町会長に説明しようと思えます。今までのことを説明し、立派な学校ができるから皆さん期待してくださいと話そうと思えます。

<会長>

委員の方々から、温かいメッセージをいただきました。それでは、教育長からお願いいたします。

## 6 教育長あいさつ

<教育長>

統合協議会の終了にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

委員の皆さまからの含蓄のあるお話、お言葉を頂戴し、感無量でございます。

平成 18 年 2 月 8 日、杉並区教育委員会は、杉並第五小学校と若杉小学校の統合計画を決定いたしました。私は、同年 4 月に着任し、5 月の第 1 回統合協議会に出席させていただきました。本日、第 21 回をもって新しい学校づくりへの準備万端整ったということですが、この間の皆さま方の熱意と愛情のこもった検討、協議に改めて敬意と感謝の意を表したいと思えます。ありがとうございました。

杉並第五小学校、若杉小学校は両校とも長い歴史を持った学校です。杉並第一小から始まり、杉並第五小、そして若杉小という「杉」を冠した学校の中の、二つの学校を一つにすることについて、委員の方からの、学校に対する思い、伝統や誇りを持っているというお考え、また、他の委員からありました、まずは一つにするところから進めようというお考え、そうした中で協議を重ねていただき、本日、すべて整いました。

是非、統合第 1 号の学校をモデルとして、この教訓をこれから進める新しい学校づくりに活かしていきたいと思えます。

天沼小学校の理念である「共生」は、地域コミュニティの中心としてここに集うすべての人たちが住みよいく感じ、生きがいのあるまちづくりをしていくということです。

私は、教育長に着任して以来、「いいまちは、いい学校を育てる」「いい学校のあるところに、いいまちができる」このことを仕事を進める上での信条としてやってまいりましたし、また、これからもやっていく心構えです。

委員の皆さまのお話から、この地に住まわれる人たちが、いかほど学校を思い、子

どもたちのことを考えて日々過ごされているか、こと急あれば、あらゆる英知を寄せ合ってその解決を図り、未来を拓いていこうとされる姿勢は、まさに「いいまちが、いい学校を育てる」というお手本を見せていただいた思いがします。自分の考えが間違っていなかったことの査証にさせていただきます。

教育委員会事務局の職員が、統合に関わる作業を進める中で、様々に差し障りのあること、齟齬のあること、ご無礼もあったかと思えます。これもひとえに、担当者の熱意の表れとご理解いただき、ご容赦願いたいと思えます。私も、日頃から担当者が、夜を徹して準備をし、細かい資料を用意して読み込み、どうすればご理解いただけるか考え、様々に苦勞していることを傍で見えておりました。ここに並んでおります担当者も、万感の思いで皆さまのお話を聞いていたことと思えます。

最後になりますが、私は、1月15日の朝、全庁放送で新しい天沼小学校のことを話しました。天沼小学校の校歌を紹介し、「新生天沼小学校に幸あれ」という結びで全職員に話しました。この放送は、庁外の一部地域にも聞こえます。それを聞いた方から、天沼小学校が誕生する、その校歌ができたのですね、と言われました。

皆が天沼小学校に幸あれ、よい学校になるように願っている中でスタートできることをうれしく思います。

新生天沼小学校を、私どもも全力を挙げて支えてまいります。どうか、地域の皆さまにおかれましても、今後とも変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

## 7 正副会長あいさつ

<副会長>

本日、21回の統合協議会を終えました。対等な統合ということから話しが始まり、準備会から早3年、本当に月日の流れは早いものと実感しております。

これまでの間、建設的な話し合いが進められてきたことは、皆さまの知恵と力添えの賜とっております。

保護者の皆さま、地域の皆さまの本当に学校を思う熱い思い、温かい見守りということを実感しながら仕事を進めてまいりましたが、その中で、この協議会を進められたことをありがたく思っております。

私も、若杉小の子どもたちと触れ合う時間が日に日に増えています。子どもたちは、校長室に来て校舎の模型を見ては、「ここは何になるの」と言って、非常に楽しみにしています。子どもたちのそのような姿を見るにつけ、よい準備ができたと感じております。

教職員も統合に向けて、日々、準備に力を注いでおりますので、スムーズな統合ができるものと思っております。

両校の伝統と歴史を併せ持った学校として、1足す1が2ではなく、4にも、5にもなることを信じています。

天沼小学校を本当によい学校にしていくように、私どもも現在の学校の締めくくりをきちんとして、新校の立ち上げを準備してまいります。

どうか皆さまには、今後ともご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

<会長>

最後に、一言ごあいさつ申し上げます。

統合協議会が始まり2年間、会長として会を進行してまいりました。今日、ここに至ったわけですが、これもすべて委員の皆さまの広い見地からのご意見、ご示唆のおかげと思っております。

おかげさまで、子どもたちは様々な合同活動を日常的に行っています。

今日の百人一首大会、友禅体験、国語や算数の合同授業など、杉並第五小の子、若杉小の子という区別はまったくありません。子どもたちが一番先頭に立って、統合新校へのステップを歩んでいると実感しています。もちろん、教職員、PTAの方々、地域の方々、同窓会の方々も同様だと思います。新しい学校で地域の子どもたちをいかに育てていくか、その思いが集結しているように思います。

新しい学校の開校に向けて、教育委員会から様々な人的、物的支援をいただいております。若杉小で新校をスタートするための設備などハード面のこと、また、ソフト面でも最大限の努力をいただいております。

私は、2年前に若杉小に赴任した際、杉並第五小の校長先生を訪ね、まず、入学式の時に新1年生に話す中身を揃えることにしました。それがスタートでした。それからあっという間に時間が過ぎ、統合まで残り60日を切っております。

21回の協議会の場で、PTA、地域の方、同窓会、教職員、区教育委員会が子どもたちのために何ができるのか、それを話し合っている学校ですから、悪い学校ができるわけはありません。杉並一、東京一の学校になることは間違いないと思えました。

本当に2年間ありがとうございました。

明日、天沼小学校の新1年生保護者説明会を行います。それを含めて、開校に向けての準備、閉校の準備など、様々ございますが、どうか皆さま体調にご留意いただきたいと思っております。



本日の第 21 回統合協議会は、すべての協議事項を終了し、閉会いたします。長時間に渡りありがとうございました。